

# アフガニスタンに平和を取り戻すため、日本から支えてください。皆様の思いを現地へ、JVCが届けます。



AFGHANISTAN

日本国際ボランティアセンター（JVC）は現在、JVCアフガン事務所が現地法人化した現地団体「YVO」（Your Voice Organization）とのパートナーシップのもと、東部ナンガルハル県で平和構築と識字教室に取り組んでいます。

**平和構築事業「ピースアクション」について：**2017年度、暴力や武器が日常にあふれている状況に対し、これまで保健・教育分野で活動してきた村々で、家庭や地域での争いの解決を住民同士で学び合う「ピースアクション」を開始し、これまで活動してきました。この間の国の情勢は厳しさを増し、スタッフの家族や友人らも攻撃の犠牲となりました。それでも発展させてきたピースアクションでは、政府軍・米軍、武装勢力の「タリバン」、「IS」を名乗る勢力の三者が入り乱れ、激しい戦闘が続き、一般市民の犠牲者も多くなっている地域との経験交流ワークショップも実現しました。人の移動自体が困難な中、活動範囲の広がりは大きな成果です。今こそ、平和について発信ができる「ピース・アンバサダー」（平和大使）を増やしていきたい、と皆で気合を入れています！

危機的な状況が続いているアフガニスタンに生きる当事者の、平和への渴望が形になったこのピース・アクション、多くの皆様に支えていただきたい活動です。どうか募金にご協力いただければ幸いです。（2019年4月）



## クレジットカード

JVCのホームページからVISAまたはMasterカードで募金していただけます

## 郵便振込

口座名：JVC東京事務所  
口座番号：00190-9-27495  
※通信欄に「アフガニスタン・ピース」

## マンスリー募金

月々500円から自動引落で継続的に支えていただく募金です



# アフガニスタン・ピースアクション!

## 平和教育と地域住民による平和の取り組み

### ■活動の背景と必要性

現在アフガニスタンでは、政府軍・外国軍と反政府勢力「タリバン」との戦闘が拡大・激化し、「IS」を名乗る勢力もメディアを巧みに用いて影響を強め、各地有力者の再武装化なども見られています。国連の発表では2018年度の一般市民の死傷者が過去最悪を記録し、危機的な状況です。あまりに長い紛争の影響で暴力が常に身近にあるような環境が作られ、家庭や地域社会にも銃などの武器が蔓延しています。子どもたちへの影響も甚大です。子ども兵士が見られるほか、戦うことを教えられるような状況もあり、自爆攻撃犯の多くが10代の若者であるという衝撃的な情報も出ています。大切な人を失った悲しみと怒りは、憎しみの連鎖に繋がりがねません。暴力に対抗し、家庭や地域での平和・非暴力の学び合いの必要性が強まっています。この『ピース・アクション』は、ソ連侵攻の時代に生まれ、自身が難民となって、その後も続く紛争の中を生きてきた現地の仲間が、武力を武力で制しようとするこの限界と哀しさを身をもって実感し、**対話の力で平和を目指す**取り組みを提案して形作ってきたものです。



JVCアフガン事務所が2019年4月に現地法人化した現地団体YVOとの共同プロジェクトです。

### ■活動内容

- ①平和や非暴力に関する冊子作成・配布
- ②平和や非暴力の学び合い
- ③平和ワークショップ（地域間交流）
- ④地域にある暴力についての実態調査
- ⑤アドボカシー研修
- ⑥市民の自主的な平和活動

### ■必要経費（'19年度概算）

- ・プロジェクト経費
- ・現地事務所家賃
- ・人件費
- ・車両費
- ・安全管理費その他

合計約 330万円

### 日本国際ボランティアセンター(JVC)

〒110-8605 東京都台東区上野5-3-4

クリエイティブOne秋葉原ビル6階

電話：03-3834-2388 Fax：03-3835-0519

アフガニスタン事業 加藤真希 (kato@ngo-jvc.net)

